

みどりの杜病院入院対象となる患者様

がんと診断された方で、患者様及びご家族がホスピスケアの主旨を理解されていることが必要です。(告知は必ずしも必要ではありません)在宅療養が一時的に難しくなった方や疼痛の緩和治療を考えている方、また、在宅でケアしているご家族の精神的疲労の軽減(家族のレスバイト目的)としても利用できます。

※見学(無料)も受付しております。まずお電話にてご予約をお願いいたします。

※面談の際は面談料を頂いております。



おいしい・簡単 おすすめ レシピ♪ いちご大福



材料(6個分)

- いちご……………6個
- こしあん又は粒あん……180g
- 白玉粉……………75g
- 砂糖……………35g
- 水……………90cc
- 片栗粉……………大さじ2

作り方

- ①いちごは洗って水気を切り、へたを取る。
- ②1個30gのあんこを量る。
- ③1個30gのあんこにいちごをのせて、あんで包み丸める。
★ラップの上にあんをのせると形が作り易い。
- ④耐熱容器に白玉粉・砂糖・水を入れて混ぜる。
- ⑤ラップをして、レンジ(600W)で2分加熱する。レンジから取り出し、かき混ぜる。
- ⑥再び、ラップをしてレンジで(600W)で1分加熱する。レンジから取り出し、しっかりと混ぜ、半透明になつたら片栗粉の上に取り出す。両手に片栗粉をつけ、6個にちぎり分ける。
- ★冷めすぎると伸びないので温かいうちにちぎる。
(加熱後すぐは熱いので、やけどの注意する)
- ⑦生地を真ん中を厚めに、円形に大きく伸ばし、③にかぶせるようにして、底を包み丸める、掌にのせてコロコロする。
- ★仕上げの時の片栗粉は重要、両手にまんべんなく付けると形が整う。



いちごをあんこで包むのが難しい場合は、あんこだけを包み丸めたあとに、中央を切ってから、いちごをのせると簡単です。

編集後記

通勤途中で、春に咲く花のつぼみをつけました。以前は、花を求めて野山を歩くのが楽しみでしたが、新型コロナ感染症拡大の影響ですっかりインドア派になり、子供と一緒にお菓子作りにはまっています。今月号で紹介した「いちご大福」を一足先に作ってみました。結果…とっても美味しくできました。皆さんも是非作ってみて下さい。 M・F

みどりの杜病院広報誌

風MIDORI

R.4
3
vol.31



～かざみどり～

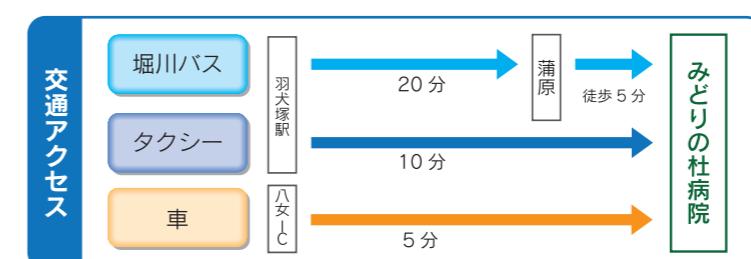


今年も新玉ねぎできました
大きくなれ おいしゅうなあれ

病院理念 私たちは、あなたと家族が、
今という大切なときを自分らしく生きることに寄り添います。

行動指針

- 患者や家族との関わりを、その出会いから大切にします。
- 患者や家族の生活空間に配慮します。
- 緩和ケアが普及し発展することを目指します。
- 地域の方々が安心して過ごせる社会をつくります。



ホームページ、フェイスブックを検索！ [みどりの杜病院](http://www.yame-midori.jp) 検索
ホームページ <http://www.yame-midori.jp>
フェイスブック <http://www.facebook.com/midorinomori.yame>



公立八女総合病院企業団
みどりの杜病院
MIDORI NO MORI
PALLIATIVE CARE & HOSPICE

〒834-0051 福岡県八女市立野 362 番地 1

TEL 0943-23-0002 FAX 0943-23-0012

相談専用ダイヤル 0943-23-1700

スタッフ紹介

看護科長 平河 幸子

令和3年6月に公立八女総合病院より、みどりの杜病院看護科長として異動となりました。9年ほど前にみどりの杜病院で父親が20日間ほど入院しました。翌年家族会に参加し、広かつた庭には随分木が増えた印象です。家族会で植樹した、多分中庭辺りに木もあるはずです。8年ぶりに足を踏み入れ感慨深い思いです。

異動してあつという間の9ヶ月でした。急性期病院とは違うゆったりとした時間の流れを感じます。多くのボランティアの方々に支えられ、四季折々のイベントや庭の木や花に季節を感じ、癒やされています。患者さま・ご家族と関わる中で自分自身、今を大切に生きる事を考えさせられ、貴重な時間を頂いたことに感謝しています。病院理念の「私たちは、あなたと家族が、今という大切な時を自分らしく生きることに寄り添います。」のもと患者さま・ご家族が安心して穏やかな時間を過ごして頂けるように、スタッフと共に努めてまいります。今後とも宜しく御願い致します。



委員会紹介

防火防災委員会



令和3年10月29日に、防火非難訓練を行いました。みどりの杜病院では、毎年一回消防士さんに来ていただき、患者さん、ご家族、ボランティアスタッフ、職員が一丸となって訓練に取り組んでおります。今年度は、事前学習として全職員で火災に関するビデオを視聴し、危機感を高めたうえで防火避難訓練に参加しました。実際に火災場所を想定し、初期消火、消防署への通報、避難誘導訓練を行い、終了後に消防士さんからの講評を受け、職員の防火意識を高める機会となりました。今後も継続し、有事の際に適切な行動がとれるよう職員一同邁進し、火災予防に努めています。



イベント紹介

食を楽しむ会 2021.11.4

今回は、回転寿司をイメージして企画しました。「この日までは死ねない」と笑いながら話をしている姿もみうけられ、皆さん心待ちにしておられました。当日は、ひとりで40貫も食べられる方もおられ、思った以上に盛り上りました。



クリスマス会 2021.12.15

Dr脇田のウクレレ演奏、Dr上野のフルート演奏、Dr丸山の熱唱にボランティアスタッフのピアノ演奏。クリスマス会も医師団の活躍で大変盛り上りました。



餅つき大会 2022.1.11

感染対策を万全にし、餅つき大会を行いました。今回は、二人の医師と師長も参加し、「ヨイショ」「ヨイショ」というかけ声とともに美味しいお餅が出来上りました。



豆まき 2022.2.3

鬼のお面を持ち患者さんのお部屋を訪室し、患者さんから豆を投げてもらいました。「鬼は外、福は内」と笑いが絶えませんでした。今年は、手作りの鬼のキーホルダーをプレゼントしました。

